

ポリ袋から紙袋へ

モア・トゥリーズ ペーパーバッグの導入
持続可能な環境配慮が企業価値を高める。



世界中に広がる脱プラの波。大紙袋時代の幕開け！

プラスチック製品による海洋汚染問題を契機に「紙袋」が見直されています。我が国でもレジ袋の有料化が検討され、グローバル展開している衣料品小売企業もレジ袋を廃止し、全面的に紙袋に切り替えるというニュースもありました。その後各方面より紙袋へ切り替えたいとの相談も増えてきました。まさに「大紙袋時代の幕開け」です。私たちは環境にやさしく、品質もデザイン性も広告効果も高い紙袋で紙化プロジェクトを推進していきます。

再生可能な紙袋はミライを育む。

ポリ袋から紙袋へ切り替えることで、持続可能な循環型事業を推進しています。石油由来のポリ袋とは異なり、紙袋の原料となる木は使った分を植樹し、適切に育てることで数十年後には再生します。さらに、紙製品は回収し、古紙パルプとして再生することもできます。つまり、大昭和紙工は地球環境、ひいてはヒトのミライに優しい持続可能な循環型製品として、自信をもってポリ袋から紙袋への切り替えをオススメしています。

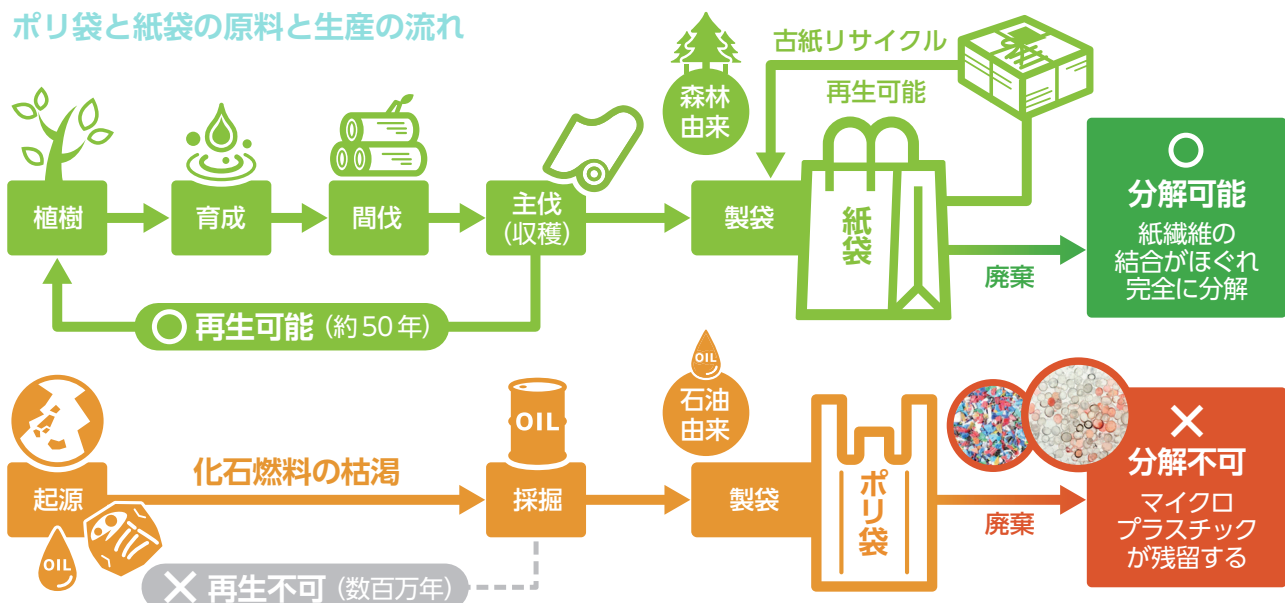
海洋汚染から地球を守れ！

毎年800万トンのプラスチックゴミが海に流出しており「2050年には海洋プラスチックゴミが魚の量を上回る」と世界経済フォーラムで報告されました。ポリ袋などのゴミは海洋生物が誤食するだけでなく、分解しきれずマイクロプラスチックとなったゴミを蓄積した魚介類を、人が食べることで健康に影響を及ぼすとも言われています。今こそ、自然に還る紙袋を選んで、地球の環境を守っていきましょう。



[出典] 日本経済新聞 (2018年11月14日 朝刊)

ポリ袋と紙袋の原料と生産の流れ



コスト重視では持続可能で豊かな地球の未来が描けません。

「ポリ袋」か「紙袋」それとも「サステナブルな紙袋」あなたはどれを選びますか？

製造コストの安さや、保管場所をとらないなどのメリットから重宝されてきたポリ袋。資源の非循環や海洋汚染の観点からポリ袋の「使用禁止」や「使用制限」「有料化」などの取り組みが世界各国で進んでいます。再生だけでなく、分解することもできない石油由来のポリ袋と、ヒトの手により再生することができ、最終的には分解され自然に還る森林由来の紙袋、あなたはどちらを選びますか？

さらに一歩進んで考えると、使用する木材のトレーサビリティや日本の森林を継続的に育てる活動に寄与する「モア・トゥリーズ ペーパーバッグ」をお選びいただくことで、社会貢献に役立ちます。企業運営の今ももちろん大切ですが、安心で安定した社会や経済があってこそその企業運営だといえます。今こそ社会を俯瞰して考え、地球のことを考慮したサステナブルな包装資材選びをお願いいたします。



環境に配慮するCSR活動として企業価値を高める。

SDGsへの取り組み

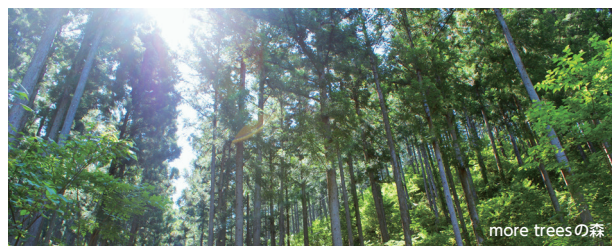
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs：エスディージーズ）は、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の目標として、2015年に国連で採択されました。人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するための17のゴール（目標）が定められています。また将来に渡り発展するため、長期的な視点で社会のニーズを重視した経営と事業展開が求められる企業においても、SDGsを柱としたビジネス戦略に注目が集まっています。私たちの脱ポリ・紙化プロジェクトにご賛同いただくことで下記のゴールに取り組む企業としてアピールしていただけます。

- (12) 持続可能な生産消費形態を確保する。
- (13) 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
- (14) 海洋・海洋資源を保全し持続可能な形で利用する。
- (15) 持続可能な森林、土地の劣化防止・回復、生物損失を阻止する。
- (17) パートナリシップで持続可能な開発・実施を活性化する。

森林保全団体「more trees」



一般社団法人more trees（モア・トゥリーズ）は、音楽家・坂本龍一が代表を務める森林保全団体です。地域との協働で森林保全を行う「more treesの森」の展開、国産材を活用した商品やサービスの企画・開発、セミナーやイベントを通じた森の情報や魅力の発信など、「都市と森をつなぐ」をキーワードに「森と人がずっとともに生きる社会」を目指したさまざまな取り組みを行っています。

モア・トゥリーズ ペーパーバッグとは？



more treesと製紙メーカー（中越パルプ工業）、紙袋製袋メーカー（大昭和紙工業）の3社がコラボレーションし実現した紙袋です。more treesと協定を結んだ岐阜県の森林から産出される木材を活用した紙を使って作られた紙袋で、売上の一部がmore treesを通じて森林整備に還元され、森林の活性化に貢献できます。モア・トゥリーズ ペーパーバッグをご利用いただいた場合、坂本龍一筆のモア・トゥリーズ ペーパーロゴを印刷デザインの一部に使用いただけます。

【紙袋製造】



大昭和紙工業株式会社

東京本社
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7-17
Tel: 03-3281-5555 Fax: 03-3281-6580



【企画・協力】

moreTrees®

一般社団法人more trees（モア・トゥリーズ）
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-9-11-103
Tel: 03-5770-3969 Fax: 03-5770-3896

